

報道関係各位

No. 24-0130SH
2024年 10月 31日
産経ヒューマンラーニング株式会社

米国 IT 企業のシステム開発現場で実際に使われている英語から学ぶ！ 『IT 神動詞』レッスンリリース ～「IT エンジニアが覚えておきたい英語動詞 30」がオンラインレッスンに～

産経ヒューマンラーニング株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：中谷友紀、以下「当社」）は、2024年10月31日（木）に、英会話の新講座として IT エンジニア向けの『IT 神動詞』を開講します。

本講座は、『IT エンジニアが覚えておきたい英語動詞 30』（著者：板垣政樹 発行：株式会社秀和システム）の書籍をベースに、オンラインレッスン形式に構成しています。

【本件のポイント】

- 20年近く米国の IT 企業で実際に働いた際のやりとりのデータから、英語でのコミュニケーションにおける頻出動詞 30 をピックアップしたカリキュラム
- 主要な表現の「主語 + 動詞」がすぐにでてくるようにアプリで反復練習できる
- オンライン会議のシミュレーションで実践的なスキルを強化



【本件の概要】

昨今、米国の IT 企業を中心に、インド系・中国系の海外エンジニアが増加しており、日本国内でも、海外クライアントやベンダーと接する機会もあり、IT エンジニアにとって英語でコミュニケーションを取る能力は必須になってきております。

一方で、日本人エンジニアの中には、本当に必要とされている英語力を理解していないこともあります。英語ネイティブ・非ネイティブが入り混じる現場では、「伝えたいことを最低限の英語で、しかし情報量と質はしっかりと伝えられている」ことが大切です。シンプルな英語で複雑な IT のトピックも話し切ることができるような、「正しい英語」より「伝わる英語」が求められます。

本講座は、この「伝わる英語」をトレーニングすることができる内容となっています。

■ 本件に関するお問い合わせ ■ 産経ヒューマンラーニング 広報担当 橋本
TEL : (03) 6388-0110 FAX : 03-5925-6545 E-mail : customer@sh-learn.com

特長 1. グローバル開発現場での経験に基づき、学ぶべき動詞を厳選！

本講座で扱う頻出 30 の動詞は、『IT エンジニアが覚えておきたい英語動詞 30』の著者・板垣政樹氏が実際に 20 年近く米国の IT 企業で働いていた際のやりとりのデータから選定されています。やりとりでは約 4,000 の動詞が出現していましたが、トップ 30 の動詞がやりとり全体の約 6 割を占めていた点に着目し、利用頻度の高い「have」や「make」などの 10 の基本動詞や、現場でよく使われる「follow up」「update」といった 20 の動詞など、IT エンジニアにとってグローバル開発の現場で必須となる表現を学ぶことができます。

「基本動詞」を使いこなすことは、英語ネイティブ・非ネイティブが入り混じる IT の現場で、シンプルな英語で複雑なトピックを話すために役立ちます。

特長 2. 「主語 + 動詞が口から自動的に出る」力を、アプリでの学習でしっかり定着！

頻出 30 の動詞が、実践の場で「主語 + 動詞」の英語の形ですぐに出てくるよう「レシピ for SHL」アプリを利用して、定型表現を繰り返し練習することができます。

また、すきま時間で日本語⇄英語の変換トレーニングができ、実際の場面での英語発話をスムーズにします。

特長 3. リアリティのあるシーンでロールプレイ！

本講座は全 34 レッスンです。うち 2 つのロールプレイレッスンでは、オンライン会議のシミュレーションを通じ、グローバル開発現場での会話スキルを強化します。会議は、米国や中国のエンジニアが参加する設定で、接続の開始から議論まで実際に行われる会議の雰囲気の中で、実践的に使える表現を練習できます。

▼IT 現場に即したキーフレーズと、入れ替え練習が充実

30 Essential Verbs for an IT Engineer Lesson 4: Get2

1 PHRASE OF THE DAY

今日のフレーズ



I'll try to **get** this investigated.
これを調査してみます。

「こいつを何とかする」イメージは get で表現する
get がよく使われるのには、「曖昧さ」を表現できる便利さがあります。「来週までにバグを直さないといけない」と言うとき、「I need to fix...」だと自分が直すことになってしまいますが、「I need to get this bug fixed.」と get を入れることで、自分が誰かにやらせてもらうニュアンスが生まれます。

2 Match

マッチング

Directions: Match the right pairs and say it combined with the verb.
課題: 正しいペアを組み合わせて、動詞に続けて言ってみましょう。

- | | | | |
|-----------|---|---|--------------|
| 1. 完了する | ● | ● | fixed |
| 2. 直してもらう | ● | ● | shipped |
| 3. 調査する | ● | ● | ordered |
| 4. 解決する | ● | ● | completed |
| 5. 注文する | ● | ● | investigated |
| 6. 出荷する | ● | ● | resolved |

3 VOCABULARY

読み

Directions: First repeat after your tutor and then read aloud by yourself.
課題: 先生の後に続いてくり返した後、今度はひとりで発音してみましょう。

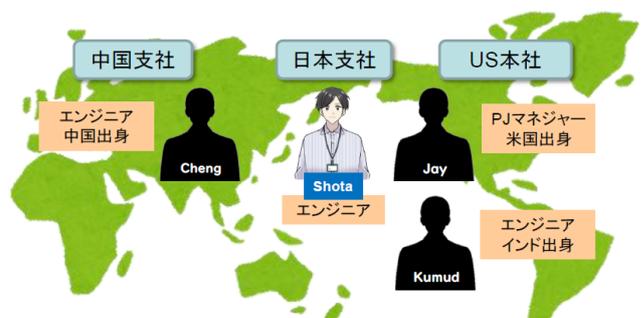
automatically	自動的に	(one's) best	最善
to disappear	消える	soon	早いところ
product	製品	all	全部
to get done	終わらせる	as soon as possible	できるだけ早く
task	タスク	high	高い
to get added to	追加してもらう	to try to	してみる
to get set	セットしてもらう	to ask around	聞きまわる
to get looked at	見てもらう	issue	問題
to get initialized	初期化する	to get ○○ updated	最新の情報を報告してもらう
variables	変数	to unblock	再開する: 障害を取り除く

▼実際のグローバル開発現場を想定したロールプレイレッスン

30 Essential Verbs for an IT Engineer Lesson 13: Roleplay

グローバルIT現場のシミュレーション<前編>

- 0 本レッスンでは、Conference Call (オンライン会議) に参加するというシナリオに沿って様々な動詞表現を使う会話を用意しています。まず、下の設定を確認の上、つぎのページの会話やりとり練習へ進みましょう。



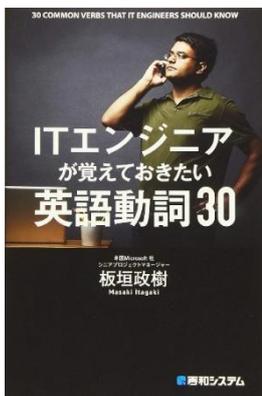
Technical review : Japanese language model

Agenda

1. Development status update 開発状況の報告 Jay, Kumud
2. Overview of building Japanese language model Shota
日本語言語モデルの構築に関する概要説明

この会社では現在、メッセージアプリの中で交わされたテキストメッセージの内容によって広告を出すというサービスを提供しようとしています。例えば、メッセージの中で「そう言えば、〜で今セールやっているよ」といったメッセージが表示されると、そのセールに関するサイトへのリンクが自動表示されるといった機能です。米国本社ではすでに英語版の開発がほぼ完了していますが、現在はアジア言語、特に日本語版の開発作業を進めています。ところが、テキストデータ処理について本社のエンジニアは十分に理解していません。特に言語モデル (単語の並び方を確率で示したもの) の作り方について日本のエンジニアによるサポートが必要となっています。そこで Shota が今回のコールで、日本語の言語モデル構築について英語と何が違うのか、どういったリソースが必要なかを説明し、確実な開発スケジュールを立てるのが今回の会議の目的です。

■ 本件に関するお問い合わせ ■ 産経ヒューマンラーニング 広報担当 橋本
TEL : (03) 6388-0110 FAX : 03-5925-6545 E-mail : customer@sh-learn.com



【著者：板垣政樹（いたがき・まさき）プロフィール】

元米国 Microsoft 社 シニアプロジェクトマネージャー。

在京新聞社で経済記者として勤務した後、米国 ERP 企業で翻訳コンテンツ管理システムの開発を進める。05 年に米 Microsoft 社に移籍し、用語管理システムを開発。10 年からはクラウド・AI プラットフォーム部門にて音声モデル構築管理などに取り組む。

現在は一般社団法人キッズコードクラブで AI を活用した子供向け学習システム開発を日米の学生インターンとともに進めるプロジェクトを推進中。

著書に『いますぐできる 1 分間プログラミング』（KADOKAWA）、『IT エンジニアが覚えておきたい英語動詞 30』（秀和システム）などがある。

【『IT 神動詞』は、企業・学校など団体でもご利用いただけます】

『IT 神動詞』は、団体・法人でもご利用いただけます。料金や利用方法は個人向けとは異なりますので、別途お問合せください。団体利用のお問合せはこちらから>> <https://go.human.sankei.co.jp/l/709243/2019-12-11/b9hmx>

【今後の事業展開について】

当社では、これまで 10 年以上にわたりオンライン英会話サービスを提供してまいりました。今回の『IT 神動詞』講座の開講により、IT エンジニアの方々が現場で実際に役立つ英語表現を習得できる機会を提供いたします。今後も専門分野や多様なビジネスシーンでの実用英会話に対応したサービスを充実させ、初心者からプロフェッショナルまで幅広いニーズに応える語学学習の機会を広げてまいります。

■産経ヒューマンラーニングについて <https://human.sankei.co.jp>

産経新聞グループの信頼を届ける『株式会社産経デジタル』・「学ぶ」「働く」「支える」を応援する『ヒューマンアカデミー株式会社』・「Your Global Partner」『トランスコスモス株式会社』の 3 社による共同事業で、安心・安全・高品質なオンライン英会話サービス「産経オンライン英会話 Plus」を提供しております。

フィリピン人講師、ネイティブ講師、日本人講師によるレッスンで初心者から上級者の方まで安心して学んでいただけます。また、現在までに法人 500 社、学校 200 校以上にレッスンを提供しています。



■ヒューマングループについて <https://www.athuman.com/>

ヒューマングループは、教育事業を中核に、人材、介護、保育、美容、スポーツ、IT と多岐にわたる事業を展開しています。1985 年の創業以来「為世為人（いせいいじん）」を経営理念に掲げ、各事業の強みを生かし、連携しながらシナジーを最大限に発揮する独自のビジネスモデルにより、国内 330 拠点以上、海外 5 カ国 6 法人のネットワークでお客様に質の高いサービスを提供しています。



日本リスニングコンソーシアム
学び続けよう、未来のために。

会社概要

産経ヒューマンラーニング株式会社

- 代表者：代表取締役 中谷 友紀 ●所在地：東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア
- 資本金：5,000 万円 ●URL：<https://human.sankei.co.jp>

■本件に関するお問い合わせ■ 産経ヒューマンラーニング 広報担当 橋本
TEL：(03) 6388-0110 FAX：03-5925-6545 E-mail：customer@sh-learn.com

■ヒューマングループに関するお問い合わせ■ ヒューマングループ 広報担当 若林・平
E-mail：kouhou@athuman.com